

附属幼稚園だより 第11号

令和2年9月8日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が
いっぱい幼稚園

台風10号の被害はございませんでしたか。幼稚園は、4日（金）にほとんどの物を室内に入れ、徹底的に台風対策をしていたおかげで、木の枝が散乱していたほかは特に被害がありませんでした。

コロナ禍における変更

今年度はコロナ禍で行事等の変更を余儀なくされています。

運動会(9月27日)

9月1日にお知らせしたとおり、人数制限を行う必要がありました。私たち職員も、本当に皆さんに来ていただきたかったのですが、附属学校園で揃え、大人2名までとしました。兄弟姉妹については、大変悩みました。御存じのとおり園庭は狭く、兄弟姉妹を全員よしとすると、どうしても密になってしまいます。そこで、小学校3年生までは、つれてきてよいとしました。それは、兄弟姉妹を分けるという意図ではなく、小学生以上は入場できないとすると、お子様の預け先がない場合留守番になるかもしれないと考えたからです。

年長にとっては幼稚園最後の運動会。兄姉祖父母にも見せたかったという思いもあったことでしょう。しかし、運動会は「年長だけ」人数を増やすことは、全体の数を考えてできませんでした。どうぞ、御理解ください。新しい生活様式として、御家庭でビデオ観賞会を開き、お子様と一緒に語り合う時間が生まれることを願います。

「大人2名」の考え方ですが、そのうちの1名を兄姉に置き換えることは可能です。お渡ししている2枚のIDカードの数が、入場者数とお考え下さい。小学校3年生以下はIDカードは不要です。兄姉の数は、御家庭によって様々で、今回のような人数制限では不便があることは重々承知しておりますが、全体のことを考えたとき、このように苦渋の決断をさせていただきました。

それに伴い、祖父母参加種目は今年度はありません。なお、小学生（3年生以下）と未就園児の参加種目はあります。

研究発表会(10月31日)

開催をするかどうか大変迷いましたが、コロナ禍における研究発表会の在り方の提案にもなると判断し、人数制限をして小学校の体育館で開催することにしました。ただし、当初計画していた保育参観は中止にしました。不特定多数の方を園児がいる保育室等には入れられないと判断しました。そのため、年間行事予定では、10月31日（土）は登園とお知らせしておりましたが、登園はなしということになります。それと併せて11月2日（月）が代休日になっておりました。これは、職員の勤務の都合上、そのまま代休とさせていただきます。

もちつき会(12月10日)

この行事も大変悩みました。しかし、食べ物を扱う行事は今年度は感染拡大のリスクを考え、中止としました。子どもたちには、ぜひ経験させたい行事の一つではありましたが、みんなの命を守るの方が大事です。代わりに何か楽しいことができないか、職員で知恵を出し合っているところです。

年長児祖父母の話を聴く会

例年、敬老の日の近くに年長児は「祖父母の話を聴く会」を設けておりました。これも、残念ながら今年度は中止します。

教育実習

実習も何度も日程の変更がありました。今の時点では、以下のとおりです。

主免実習 9月8日～27日、10月13日～14日（予備日15～16日）

副免実習 12月8日～21日

このように行事の変更ばかりで、子どもたちや保護者の皆様には、がっかりさせることが多く、心から申し訳ないと思っています。一つ一つ最善策を話し合って決めています。一方から見ると最善ではないこともあります。御不満もあろうかと思いますが、どうかご理解ください。

コロナ禍はまだまだ続きそうです。今後も、常に判断を迫られてきます。子どもたちと保護者の方々の思いをできるだけくみ取り、感染防止に努めながら進めていきたいと思っています。



前期後半はじまりの式は、涼しい木陰で行いました。